

ARTS for HOPE

宮城チーム活動報告書 2013年3月13日
宮城県 東長町児童館

「動く絵をつくる」

厚みのある白ボール紙を切り抜いて、重ねた部分に千枚通しで穴をあけ、そこに割りピンを通して動かせるようにする。この動く絵づくりのワークショップは、先の尖った千枚通しで紙をブスブス刺す作業があるので、ちょっと心配をしていたのですが、参加してくれたみんなは順調な仕事ぶりでした。

女の子は、うさぎや人のかたちなど、かわいらしいもの、男の子は、6本の足はもちろん羽まで動く昆虫、くねくね蛇など、動かしてみると、なかなか面白く可動する作品がたくさん出来上がりました。厚みのある白ボール紙を切り抜くのに、ちょっと手こずった子には、パーツの周りを大きめに切ってから、細部をていねいに切り抜く技を伝授。もちろんすぐに習得してくれました。使い方さえ間違えなければ、千枚通しもカッターも、危ないものではなく、生きて行くのに必要な大切な道具となっていく。それが実感できる姿であったように思います。作品に、プラス色を塗ったり、シールを貼ったり。

へビはクネクネ。ウサギの耳はゆらゆら。
ひとの手足も、360度回転！

「動く絵」は、愉快！愉快！ いろんな作品ができました！

